

耐火物誌用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は和文又は英文。
- 2) 用紙：A4判白紙に上下30mm，左右20mmの余白を設けこの枠内に記し，1ページに収める。
- 3) 体裁：次ページの年次学術講演会概要原稿作成要領に従うこと。特に字体はそれぞれ指定されたものにすること。（英数字は半角，カタカナは全角を使用する。）
- 4) 表現：① 原稿は目的，研究手法，成果，結論等が理解しやすい簡潔な表現とすること。題名は具体的かつ内容を的確に表すこと。
② 商品名，一般的でない略号等は原則として用いない。
③ 図表はすべて英文とする。（図表中の説明も英文とする。ただし本文中では図1，表2…と和文表記し、ゴシック太字とする。）
④ SI単位を使用。（例：MPa， $\text{kg}\cdot\text{h}^{-1}$ ， $\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$ ， $\text{g}\cdot\text{cm}^{-3}$ ， $\text{W}\cdot\text{m}^{-1}\cdot\text{K}^{-1}$ ，mass%）
⑤ 顕微鏡写真のスケールは必ず写真内にいれる。（写真は，図として扱う。）
- 5) 提出：作成した原稿は，メール添付データで年次講演会事務局に提出する。
- 6) 査読：応募原稿はプログラム委員会において，題目・形式・印刷効果等を中心とした査読を行い修正を依頼することがある。
- 7) 発表講演は，後日耐火物誌への論文又は技術報告としての投稿を依頼する。
- 8) 著作権：耐火物技術協会に属する。

TAIKABUTSU OVERSEAS 用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は英文。（協会での翻訳希望者は耐火物誌用原稿のコピー左肩に翻訳依頼と朱書し，余白に特殊用語のみ英語を朱書して提出する。）
- 2) 用紙・体裁：講演題目，著者及び本文は A4判用紙に大きめの活字でベタ打ち，図表は耐火物誌用と同じものを別紙にて，電子データ（メール添付）で提出する。（レイアウトは協会で行う。）
- 3) 校正：内容については触れないが，英文としての校正をすることがある。
- 4) 掲載辞退：都合により掲載を辞退するときは，耐火物誌用原稿のコピー右肩に掲載辞退と朱書して提出する。（辞退しても発表記録として題目と発表者名は掲載される。）

別表：講演発表分類表（2項目以上選択のこと）

分類	分野・内容	分類	分野・内容
1	基礎・評価・分析技術	7	鑄造(非鉄含む)
2	原料	8	ガラス・セメントその他工業炉
3	耐火物製造技術	9	焼却炉・廃棄物熔融炉
4	設計・施工・補修及び機器	10	定形耐火物
5	製鉄	11	不定形耐火物
6	精錬(非鉄含む)	12	その他